



木の風景

木の風景 [80]

目野薬師堂の
フジ

所在地：中横田



フジ <藤>

マメ科フジ属 [落葉藤本]

中横田の目野にある目野薬師堂には、春の日差しの中、鮮やかな紫色が映えるフジが訪れる者を迎える。

薬師堂は、明治時代に目野の東側の山すそから現在地に移された。現在は、薬師如来を本尊として、両脇に日光菩薩と月光菩薩の2体と、十二神将像が

安置されている。仏像は室町時代の作で、完全に残存している貴重なもので、町の指定文化財となっている。

<説明>

山野に自生するが、古くから庭などによく植えられ、主に棚づくりにする。寿命が長く、樹齢1000年と推定されるものもある。つるは長く伸び、ほかの木などに右巻きに巻きつく。

葉は奇数羽状複葉で、長さ20～30センチ。小葉は5～9対あり、長さ4～10センチの卵形で質は薄く、ふちは全縁。

4～7月、長さ20～90センチの長い総状花序を出し、紫色で長さ1.2～2センチの蝶形花を多数開く。花序は垂れ下がり、基部の方から咲き始める。

つるは丈夫で、昔はかごを編んだり、物をしばるのに使った。

広報

こうさ

2010年（平成22年）5月号
通巻490号

今月の表紙

4月16日（金）乙女小で、新1年生に手作り鉛筆立てを手渡す、ケアハウス桜の丘入居者の古閑チヨミさんと楠井カヲルさん